



海と地球の科学を学ぶ
マリエント
「ちきゅう」たんけんクラブ
2025.10月

『水産市場大研究』
(新井田川漁業協同組合・八食センター見学)



■日時:令和7年10月26日(日) ■会場:新井田川漁業協同組合・協同組合八食センター
参加者:会員 39名・家族 23名・引率 3名 計65名

マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ

『水産市場大研究』

(新井田川漁業協同組合・八食センター見学)

実施体制 (主催)八戸市水産科学館マリエント
(協力)新井田川漁業協同組合 協同組合八食センター

スケジュール

- 8:30 受付開始
- 9:00 出発(バス)
- 9:30 新井田川漁業協同組合見学
- 10:15 八食センター到着
鮭の解体ショー
八食センター見学
- 12:00 八食センター出発
- 12:30 到着後、レポート作成
終了、解散

趣 旨

新井田川漁業協同組合協力のもと、施設見学をさせて頂き、水産資源を安定的に確保するための取り組み(増殖事業)と、海と人との関わりや水産資源を守ることにについて学ぶ機会とする。

また、八食センター協力のもと、鮭の解体ショーを行ない、生体について学習。八食センターの見学を行い流通や販売、消費される水産業のサイクルについて理解を深めることを目的としている。



新田川漁業協同組合見学

新井田川漁業協同組合に到着後、組合長の外館守男様へ見学のお礼としてたんけんクラブサイダーをお渡ししました。さけ・ますふ化場見学では、サケの卵と大きなサクラマスを見せていただき、設備やサケの生態についても教えていただきました。



新井田川漁協の皆様より会員へファイルと鉛筆のプレゼントを頂きました。たんけんクラブからはサイダーをお送りしました！



サケの卵

ここにある卵がすべて孵化しても、生きのびられるのは1.2匹くらいしかないんです。

お腹に卵を持っているサケのメスをこの生簀に入れておきます。



サケの卵を入れている水槽は、常に新鮮な水を流し続けます。きれいな水を保つだけでなく、高温では生きていけないサケのために、低温を保つためでもあるんですよ。

皆さん、今日はふ化場の見学を楽しんで行ってくださいね！



新田川漁業協同組合
組合長 戸館 守男様



現在施設内の生簀にはサクラマスやアメマスがいます。



サクラマス

八食センター見学

八食センターに到着後、担当の福島様と一緒に集合写真を撮りました。そして坂下商店の坂下様によるサケの解体ショーを真近で観察した後、自由見学として各自買い物へと繰り出しました。



坂下商店 坂下様

頭の軟骨を使った「氷頭なます」という郷土料理があります。生まれた川に戻ってこられる秘密は、頭の中にあるのではと考えられています。



大きなサケがあつという間に三枚おろしになりました。サケは白身魚で食べたエビなどのエサに影響されて身が赤くなります。



サケの卵がイクラになるか筋子になるかは調理の仕方次第です。骨の間にある血合いは塩漬けにして食べることができ、栄養満点なんですよ！またサケは内臓まで食べることができ、捨てる場所が無いと言われています。



みなさん
サケは好きですか？



坂下様、サケの解体を見せていただき、ありがとうございます。



Q サケが少なくなったのはどうしてですか？

A 小さいうちに他の魚や鳥に食べられてしまふことがあります。その他にも色々な原因が重なっていると言われていました。



質問タイム

補足

サケが川に帰ってくる確率は数パーセントですが、それでも新井田川漁協をはじめとしてサケの放流を続けるのは、続けなければ今より減ってしまうからです。

Q 養殖のサケと天然のサケは売られる時混ざることはないですか？

A 獲れた場所を明確にしているので混ざり心配はないです。



Q 捨てる場所はないとの事ですが、それでも食べられない部位はあるのでしょうか？

A ヒレや肝臓でしょうかね。その他には食べる人が美味しくないと思った部位になると思います。

生のサケの匂いにびっくり!!



調理後のサケしか見たことがなかったから生サケに釘付け！

見学タイム

たくさんの種類の魚!!
冷凍技術で確保しているんですね！



今日の振り返りとレポート作成中!!



新井田川漁業協同組合にてサケを増やし、生産する為の現場を見学しました。
八食センターではサケの解体ショーを通じて、消費するまでの工程を学びました。
一見関係のないように見える二つの施設が、水産業のサイクルとして繋がっていることを初めて知ったり、改めて学んだという内容がそれぞれのレポートに見受けられました。
今企画の趣旨はまさに水産業のサイクルを学ぶことにあり、目的は達成されたのではないのでしょうか。
新井田川漁業協同組合の皆様、八食センターの皆様、ご協力頂きありがとうございました。
今後ともマリエント「ちきゅう」たんけんクラブを宜しくお願い致します。



お見送りもしてくれました
本当にありがとうございました！

有意義な1日に
みなさんニコリ!!



不思議をたくさん
見つけたかな？





JAMSTEC の地球深部探査船「ちきゅう」がギネス記録を更新したことを受け、会員の皆さんにお祝いメッセージをお願いしました!



マリエント「ちきゅう」たんけんクラブレポート

※感じたことを自由にかいてみよう

氏名	さか いり	学校名	ちかほ
学年	1年	年齢	7才
		性別	男・女

マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ10月企画 『水産市場大研究(新井田川漁業協同組合・八食センター見学)』

・魚が大好きです。前から魚は守りたいなあと思っていたけれど、
卵をみたり、泳いでいる姿をみたり、解凍をみたりして、
もっと守りたいなあという気持ちが強くなった。

・養殖は本来の生態系とは違うけど、
魚を育てていく方法の一つとしていいと思った。
あんな特別な場所に入るとは思っていなかった。
魚は、
大きいのと
小さいの
役目が
違ってた。

解体ショーの「内臓」にショックをうけ、
勉強にならず、反省...
おいしそうだった!

令和7年10月26日(日)



マリエント「ちきゅう」たんけんクラブレポート

※感じたことを自由にかいてみよう

氏名	たなぶみほ	学校名	しょうほくしょう
学年	2	年齢	7才
		性別	男・女

マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ10月企画
『水産市場大研究(新井田川漁業協同組合・八食センター見学)』

今日は、にいだか^{わぎ}もう
でさけのたまごを見ました。
くみあいちゃんがたくさん
たまごを海にもどしても、1ひきが
2ひきしかとれないといっていました
じぶんが思ったよりは、たくさんたまご
をうんだのに、1ひきが2ひきしかもどらない
のがかわいそうだな^あと思いました。あと、
さけの、ないそうがたべられるのがす
ごいな^あと思いました。さけのさばき
方がすごかったです。

令和7年10月26日(日)

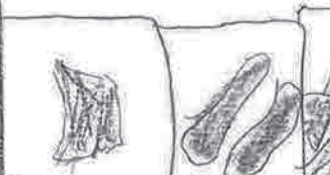


マリエント「ちきゅう」たんけんクラブレポート

※感じたことを自由にかいてみよう

氏名	福田莉子	学校名	北園小学校
学年	3	年齢	9才
		性別	男・女

マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ10月企画
『水産市場大研究(新井田川漁業協同組合・八食センター見学)』

新井田川漁業協同組合		八食センター	
思ったこと		思ったこと	
人間の力で、はな 大きいさけを作 ていて、さけのた まごがたくさ んあったのでも とさけのほうり うをふかめても とさけがふえる といいなと思いま した。		3kgほどのさけを 1つ1ついねいに さばいていてか えどうしました。 さけのせんぶ のぶぶんを食べ れ^あうだな^あと思いま した。 かいたいたてんねんさけ	
			

令和7年10月26日(日)



マリエント「ちきゅう」たんけんクラブレポート

※感じたことを自由にかいてみよう

氏名	金島 広樹	学校名	田面木小学校
学年	5	年齢	10才
		性別	(男)・女

マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ10月企画
『水産市場大研究(新井田川漁業協同組合・八食センター見学)』

新井田川漁業ではさけのたまご
がたくさんありました。それを毎年
けいぞくして、たまごをふ化させる
ことで、同じ川にもどってきて、さけを
いっぱい食べられるので、ありがたい
活動だなあと感じました。
八食センターではさけのかいたいショー
を見ました。牛乳におどろいたのは、
さけはほぼあまえず食べられること
です。理由は内臓などは食べれない
と思っていたからです。
また、この活動があったら、前よりもっと
たくさんみたいです。

令和7年10月26日(日)



マリエント「ちきゅう」たんけんクラブレポート

※感じたことを自由にかいてみよう

氏名	久保田 葵	学校名	八戸市立東中学校
学年	2	年齢	14才
		性別	男・女

マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ10月企画
『水産市場大研究(新井田川漁業協同組合・八食センター見学)』

今日は新井田川漁業、八食センターで鮭の見学をし
ました。
新井田川漁業協同組合には、何度か見学に行ったこ
とがあったので、また思い出すきっかけとなりました。
見ためよりも広い空間で、中は暗かったです。奥には
いくら(鮭の卵)がバトラーに大量に入っていました。
八食センターでは、鮭の解体を見学しました。内臓と
か「ちあい」という聞いたことのない部分も出てきて驚
きました。ひれやしほなどのいくつかの部分以外
は食べれると聞いて、ムダが無いなと思いました。
また、魚が帰ってくる確率は少しかないという
話も聞いて、漁業共同組合で見た大量の卵を思
い出して、難しいことなんだと感じました。

JAMSTECさん、ギネスおめでとうございます!!!
これからも頑張ってください!!!

令和7年10月26日(日)



マリエント「ちきゅう」たんけんクラブレポート

※感じたことを自由にかいてみよう

氏名	平 希 望	学校名	八戸北高校
学年	2年	年齢	17才
		性別	男・男

マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ10月企画
『水産市場大研究(新井田川漁業協同組合・八食センター見学)』

〈新井田川漁業協同組合〉

- ・5~10年前の見学時にはかなり魚の数が減っていた。
- ・気候変動、クマ等の原因により帰ってこられない個体数が増えている。
- ・普通の気候だったらあり得ないことが数年で起きている。
- ・ここ最近で地球温暖化、気候変動の原因となるものは多く存在(紛争等)
- 一人ひとりとよりよは全世界が見直さなければならぬ課題である。

〈八食センター見学〉

- ・坂下さん…イカやサケに詳しく、今回はサケの解剖をしてくれた。
- サケの全長…目視の限り、50cmほど? (坂下さんのA腕の $\frac{3}{4}$ の大きさ)

疑: ここ10年で鮭の漁獲量は減少したが、増えたサケの種類、減ったサケの種類はあるのか?

〈最後に〉

今回はお忙しい中、貴重な体験とありがとうございました。今回の大研究を経て、「私」がこのクラブに入ってから約10年の中で、こんなにも生態系に変化が起きているということを知ることができました。本当にありがとうございました!

令和7年10月26日(日)



マリエント「ちきゅう」たんけんクラブレポート

※感じたことを自由にかいてみよう

氏名	平田 聡美	学校名	フラチナ
学年		年齢	51才
		性別	男・女

マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ10月企画
『水産市場大研究(新井田川漁業協同組合・八食センター見学)』

新井田川漁港に鮭はいませんでした。

あったのはほんの少しのいくらでした。(箱2つの底に少し)

2019年11月10日、たんけんクラブで同漁港を訪れた時、川はたくさんの鮭でたくさんのしぶきが上がり、川から上げる赤い鉄の檻にはたくさんの鮭であふれていました。いけあの中ももちろん。

たくさんの鮭が! 鮭の数に比例して、漁港の皆さんも私たちもまんまる笑顔で、そこは活気に満ちていました。1人ずつ、みんなで鮭のお腹に包丁を入れ、たまごを出し、精子をかける体験もさせていただきました。暴れる鮭の頭を棒で叩き氣絶させることも見学・体験させていただきました。

今、想うとなんて贅沢でありがたい体験だったろうと。たんけんクラブとして新井田川漁港、皆さんには感謝しかありません。

不漁の要因は1つではないと思います。私にできること、それは、海浜を中々にゴミも拾い集めて中くこと。これまで140回以上活動してきました。ちほけなことはありますが、少しでも恩返しをするべく、これからコツコツと継続してゆきます。

思い出していたら、たんけんクラブの思い出でいたいた八食センターさんの鮭ご飯とおみそ汁が脳裏に浮かんできました!

また食べたいなあ〜♡ おいしかったなあ〜♡

令和7年10月26日(日)



マリエント「ちきゅう」たんけんクラブレポート

※感じたことを自由にかいてみよう

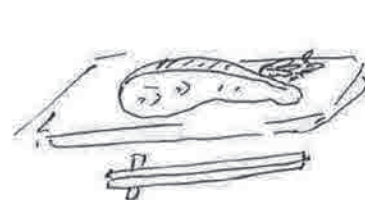
氏名	見吉 由記	学校名	アヲナナ会員
学年		年齢	才
		性別	男・女

マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ10月企画
『水産市場大研究(新井田川漁業協同組合・八食センター見学)』

初めてサケの養殖場を見学させていただきました。
普段、食卓にのぼる鮭が、どのように養殖、育てられているのかを
間近で見ることができました。

今回の見学を通して、鮭はただお店に並べられている
のではなく、その前には、「誰かの手に支えられている」ということが
分かりました。ただ食べるだけでなく、生き物の命にも、それまでに
関わって下さっている方々にも感謝をしていただこうと思います。

今回も見学をありがとうございました。



『八戸市水産科学館 マリエント開館36周年 はちのへ「ちきゅう」情報館 オープン18周年記念式典』

